

# 聴き合い・語り合いを進化させる

## ハイライト：

- ・キーワードは、聴き合い・語り合い
- ・研究テーマ  
子どもの目が輝く学習の創造
- ・目の輝き、聴き合い・語り合いの具体化を
- ・提案授業を観るスタンス
- ・授業整理会は、次のように進めます。

## キーワードは、聴き合い・語り合い

前号のタイトルは、「ふり返り・確かめ・進化」でした。「ふり返り」は、これまでの実践をふり返り、成果と課題を明らかにすること、「確かめ」は、部ごとのふり返りを全職員で共有化していくこと、「進化」は、本年度の研究を生かす来年度の方向性を共通理解し、実践していくこととしていました。

では、「本年度の授業づくりのキーワードを1つ挙げなさい。」と問われたら、みなさんは何を挙げますか？公開授業や授業参観指導を通して、様々な視点から授業改善を進めてきましたが、やはりキーワードは、「聴き合い・語り合い」となります。

各学年の発達段階に応じたより質の高い交流活動をめざし、きめ細やかな支援を行っていったので、子どもたちの目が輝く場面が随所にみられるようになりました。道徳の実践交流会に向けて培った「聴き合い・語り合い」の

力が、国語や算数の学習においても、生かされていたのです。

本年度の研究テーマは、「基礎的・基本的な知識・技能の習得・活用を図る学習指導」で、サブテーマを「チーム力を生かした2つのアプローチ形成を通して」でした。これは、組織運営面に視点をあてた新しい研究スタイルでした。このスタイルでの研究の成果を生かし、来年度の研究へ進化させていくためには、「ふり返り」におけるキーワードである「聴き合い・語り合い」は不可欠なものとなります。

夏休みに行った中間報告会では、本年度の各部の実践を集約しサブテーマを具体化していくよう指導・助言を受けました。そこで、来年度は、久原小学校の子どもたちの目が輝く授業をつくりだしていくために、「聴き合い・語り合い」を中心にした授業改善の手だてを進化させていきたいと思います。

## 研究テーマ：「子どもの目が輝く学習の創造」

平成24年度の研究テーマを次のように提案します。

子どもの目が輝く学習の創造  
～聴き合い・語り合い活動を中心に～

このようなテーマは、教科の独自性からみると広くて曖昧な概念となります。しかし、久原小学校全体としてめざしている授業は、「子どもの目が輝く授業」「聴き合い・語り合い」です。国語と算数の学習において、子どもの目が輝く姿をより多く生み出すことができれば、必

然的に学力の向上につながっていくことになります。

では、目が輝いている子どもとは、具体的にどんな姿のことを表しているのでしょうか。このような視点から改めて、国語と算数の授業をふり返ることが、今この時期に大切なこととなります。

14日（火）に4年1組で行う提案授業では、算数の学習における「子どもの目の輝く姿」をふり返る機会にしていきたいと思います。

## 目の輝き，聴き合い・語り合いの具体化を

9日(木)に春日南中学校の山崎教頭先生のご指導のもと、来年度の研究の方向性について、研究推進委員会を行いました。

この会で研究主任として提案した算数での「目の輝き」と「聴き合い・語り合い」は、次のようなものでした。

### 【算数:目の輝き】

- 問題把握の段階で、「？」を強く表している。
- 自力解決で、集中して考え、表現している。
- 集団解決で、自分の考えをすすんで表現したり、他の考えを解釈しようと真剣に聴いていたりする。



### 【算数:聴き合い・語り合い】

「どちらがかんたん?」「どちらがわかりやすい?」「どちらが正確?」等の観点で行う交流活動

※「どちらも可」の場合に限る

山崎教頭先生からは、①「聴く」と「聴き合う」の違いを明確にすること、②学年でめざす「聴き合い」の姿を整理すること、③算数では、しっかりと考えをもつ(書く)ことが前提となること、④「聴き合い」と「語り合い」を分けてとらえること等、指導・助言を受けました。これは、国語の学習での姿を整理していく上でも共通するものとなります。

進化していくために、聴き合い・語り合いを高めましょう。

## 提案授業を観るスタンス

14日(火)5校時に4年1組で提案授業を行います。今回の授業には、1つの授業分析をするだけでなく、次のようなスタンスでのぞみましょう。

- 「算数での目の輝きとは?」
- 「算数の聴き合い・語り合いとは?」
- 「低学年では?高学年では?」
- 「国語では?」

そのために今回の授業では、次のようなことにチャレンジしています。

- 聴き合い・語り合いを生み出す機の配置(算数ではあまりみられない)

- 追究意欲を高める問題の段階的提示
- 自力追究時に考えをしっかりとつくり書くための「聴き合い」
- 集団交流時の2つの考えの簡単さについての「語り合い」

問題の提示方法以外は、これまでの算数の学習では、あまり行われていないものです。うまく機能しないものもあるかもしれませんが、その理由を考えていくことが、来年度の授業づくりの方向性を具体化することにつながっていきます。

## 授業整理会は、次のように進めます。

司会(安部) 記録(植田)	於: 会議室
1 講師紹介(教頭)	15:30
2 協議	15:30~16:00
3 指導助言	16:00~16:30
安部指導主事	
4 謝辞・まとめ(柴田)	16:30

### ※協議のポイント

- 算数の学習における子どもの目が輝く姿
- 算数の学習における聴き合い・語り合い
- 国語の学習では
- (○低・中・高学年における聴き合い・語り合い)

※公開授業写真(案浦)